

インターネット等による医療情報に関する検討会（第1回）資料

平成14年6月19日（水）

我が国の医療提供体制の現状と課題

I 医療提供体制の効率化・重点化の不足

病床数が多い／医療従事者が少ない／平均
在院日数が長い／機能分化が進んでいない

II 競争が働きにくい医療提供体制

比較可能で客観的な情報の不足

III 安心できる医療の確保

医療安全／小児救急等の救急医療の確保

IV 情報基盤等の近代化の遅れ

IT化の遅れ／標準化の遅れ／医業経営の
近代化

今後の医療を考える視点

○情報開示と患者の選択
～患者の立場の尊重

○医療提供体制の質の向上と
効率化・重点化
～患者選択等を通じた効率
化・重点化

○医療基盤の整備
・救急医療等、政策的医療
の確保
・情報化、経営の効率化の
推進

厚生労働省医療制度改革試案（抄）

21世紀の医療提供の姿

Ⅱ 今後の我が国の医療の目指すべき姿

将来像のイメージ

（1）患者の視点の尊重と自己責任

（患者の選択を通じた医療の質の向上及び効率化）

- 患者は、医療に関する客観的な情報を活用して医療機関を選択していく。これにより、医療機関側は医療の質や患者サービスの向上により競うこととなり、この結果、医療の重点化・効率化と質の向上が進む。

（2）情報提供のための環境整備

（医療における標準化・情報化の進展）

- 医療における病名等の用語等の標準化と医療の情報化が進むことにより、医療機関ごとの診療実績等のデータ分析や、医療機関相互の比較を客観的に行う環境が整う。

（情報提供の在り方）

- 患者の選択を可能にするため、急性期医療を担う病院を中心として、医療機関の専門性、診療実績（手術件数等）等や機能について適切に情報提供がなされる。
- 医療機関の広告に関する規制の逐次見直しにより情報提供が進むとともに、患者に対して適切な保健医療の情報が提供されるための場が整備され、医療の情報開示のルールが定着する。

Ⅲ 当面進めるべき施策

2 情報提供の推進とこれによる医療機関相互の競争の促進

(医療機関に関する情報提供の推進)

- 医療における比較可能な客観的な情報を提供するためには、情報基盤の整備が必要であり、電子カルテシステムの導入等医療のIT化を積極的に推進する。
- 医師・歯科医師の専門性や病院の機能を含め、広告規制の更なる緩和を検討し、医療機関が広告可能な事項の拡充を図る。(平成13年度)
- 日本医療機能評価機構の評価の普及を図るこのため、国公立病院・国公立大学病院において率先して受審するとともに、臨床研修病院等について受審や受審結果の公表の義務付けを行う方向で検討する。

(患者に対する情報提供の推進)

- 患者に対する十分な説明と意思の尊重、患者の診療への参加等を目的としたカルテ等診療情報の開示の推進、EBMに基づく最新の標準的診療ガイドラインの情報提供等、患者に対する情報提供推進のための環境整備を進める。
- 各種情報のデータベース化・ネットワーク化を行い、国民が容易に医療に関する情報にアクセスできる環境を整える。

医療に関する広告規制の緩和について

- 今般の医療制度改革では、我が国の医療を一層質の高い効率的なものとしていくために、医療に関する情報開示を進め、患者の選択の拡大を図ることが重要な柱と位置付けられている。
- こうしたことから、社会保障審議会医療部会における議論を踏まえ、広告規制の大幅な緩和を行うこととし、本年4月1日から施行した。
- 具体的には、医療機関が広告できる事項として下記の事項を追加した。

◇医療の内容に関する情報

- 専門医の認定
- 治療方法
- 手術件数
- 分娩件数
- 平均在院日数
- 疾患別患者数

◇医療機関の構造設備・人員配置に関する情報

- 医師・看護婦等の患者数に対する配置割合
- 売店、食堂、一時保育サービス等

◇医療機関の体制整備に関する情報

- セカンドオピニオンの実施
- 電子カルテの導入
- 患者相談窓口の設置
- 症例検討会の開催
- 入院診療計画の導入
- 医療安全のための院内管理体制

◇医療機関に対する評価

- （財）日本医療機能評価機構の個別評価結果

◇医療機関の運営に関する情報

- 病床利用率
- 外部監査
- 理事長の略歴
- 患者サービスの提供体制に係る評価（ISO9000s）

◇その他

- 医療機関のホームページアドレス
- 次に掲げる医療機関である旨
 - ・公害健康被害の補償等に関する法律の公害医療機関
 - ・小児救急医療拠点病院
 - ・エイズ治療拠点病院
 - ・特定疾患治療研究事業を行っている病院 等

医療提供体制に関する意見(抄)

平成14年3月28日 社会保障審議会医療部会

1. 医療における情報提供の推進

(1) 情報提供の在り方

患者が自らの判断により適切な医療機関を選択するために必要な情報が、幅広く患者・国民に対し提供されることが望ましい。また、情報提供の手段としては、医療機関による広告に加え、広報、院内掲示、公的機関による情報提供などがあり、これらの手段が、それぞれの特性を踏まえ有効に活用されるよう、環境整備や内容の充実が図られるべきである。

医療機関の選択に資する情報提供の在り方として、客観的に比較可能なデータを提供するための用語の標準化等やIT化などの環境整備、情報の確実性や最新性が確保される形で散在している情報をデータベース化すること、これらの情報が地域住民に身近なところで得られることが重要である。

なお、上記に加え、患者の求めによる情報開示が重要であり、特に医療機関の有するカルテ、レセプト等の医療情報について開示の義務化を求める意見があったが、これに対しては、医療の公共性だけを理由に一律に情報開示を義務づけるべきではないという反対意見があった。

また、インフォームドコンセントの義務化についても議論すべきとの意見があった。

一方、情報提供の推進に併せて、患者の自己決定を支援する体制の整備、さらに患者の教育、意識啓発の必要性が指摘された。

医療に関する情報提供

広 告

(例) 駅看板、折込チラシ、電話帳、コマ
シヤル等

【 特 徴 】

- ◇ 簡便に医療に関する情報提供が可能
- ◇ 医療機関が不特定多数に対し、患者誘因の意図を持って行うもの。患者側の意図にかかわらず情報が提供される。
- ◇ 患者保護の観点から医療法により規制
- ◇ 提供される情報は医療機関が提供したいと考える情報のみ

【これまでの対応と今後の課題】

- ◇ 医師の専門性、電子カルテの導入状況、医療機関のホームページアドレス等、患者の選択に資する事項について、本年4月より広告規制を緩和

広 報

(例) インターネット、パンフレット等

【 特 徴 】

- ◇ 医療機関が、ホームページ、パンフレット等の媒体を利用して医療機関の運営状況等の情報について、周知を図るもの
- ◇ 患者誘因の意図がない点で広告と異なる

【これまでの対応と今後の課題】

- ◇ 広告と広報の違いを明確化（通知）
- ◇ 数値を利用しただけでは評価が難しいため、適切な説明を加えた上で情報提供を行うべきデータ（平均在院日数、病床利用率等）について積極的な利用が期待される

公的情報提供

(例) 公的機関によるインターネット情報等

【 特 徴 】

- ◇ 公的機関等が患者の医療機関の選択等に資する情報を提供するもの
- ◇ 公的機関等による情報のため、情報の信頼度は高い

【これまでの対応と今後の課題】

- ◇ 社会福祉・医療事業団の情報サイト（WAM NET）において、全国の医療機関名、所在地、診療科名等について情報提供（平成13年10月より）
- ◇ 利用者の利便性の向上・提供される情報の充実

死亡率等の結果（アウトカム）情報については、客観的に比較可能なデータを提供するための環境整備が必要（ICDコードの普及、重症度補正等のデータ処理技術の開発等）

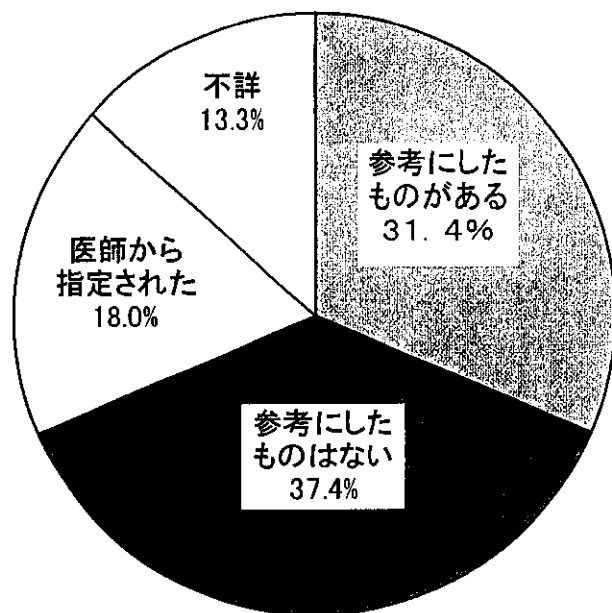
病院を選ぶ際の情報源(平成11年「受領行動調査」)

(1) 参考にした情報の有無

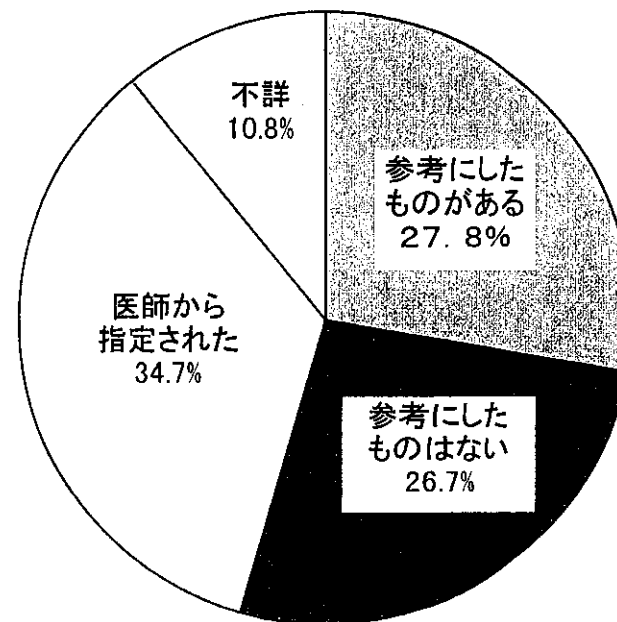
この病院を選ぶにあたり「参考にしたものがある」者は、外来では31.4%、入院では27.8%となっている。

病院を選ぶ際に参考にした情報の有無
(平成11年)

外来



入院



(2) 参考にした情報の種類(複数回答)

参考にした情報がある者について、その情報をみると、「家族・友人・知人から聞いた」が最も多く、外来では74.0%、入院では69.5%となっている。

病院の種類別にみた病院を選ぶ際に参考にした情報(複数回答) 平成11年

外来

	家族・友人・知人から聞いた	広告を見た 1)	刊行物や番組を見た 2)	インターネットを見た	保健所など行政機関で聞いた	その他	不詳
総数	74.0%	4.1%	2.0%	0.4%	4.4%	18.2%	2.1%
特定機能病院	68.0%	4.2%	8.1%	1.3%	4.9%	20.8%	1.7%
療養型病床群	73.3%	4.8%	0.9%	0.1%	4.8%	17.6%	2.7%
老人病院	71.1%	4.8%	1.0%	0.3%	3.8%	20.9%	1.8%
小病院	79.0%	5.0%	1.5%	0.5%	2.8%	13.6%	2.0%
中病院	73.4%	3.9%	1.8%	0.3%	4.7%	19.0%	2.0%
大病院	73.0%	2.8%	2.8%	0.5%	5.1%	20.1%	1.9%

入院

	家族・友人・知人から聞いた	広告を見た 1)	刊行物や番組を見た 2)	インターネットを見た	保健所など行政機関で聞いた	その他	不詳
総数	69.5%	3.7%	2.5%	0.5%	7.2%	21.5%	3.4%
特定機能病院	67.2%	4.2%	8.1%	2.4%	4.2%	24.3%	2.9%
療養型病床群	68.0%	3.5%	1.5%	0.5%	6.7%	24.7%	3.1%
老人病院	69.2%	4.0%	1.6%	0.5%	11.4%	19.8%	2.7%
小病院	76.6%	4.4%	1.3%	0.2%	3.6%	17.7%	3.2%
中病院	68.9%	3.9%	3.1%	0.4%	7.5%	19.8%	4.2%
大病院	69.7%	2.6%	3.4%	0.6%	6.6%	23.2%	2.9%

注): 1)「広告を見た」 → 「広告(新聞・雑誌・テレビ・電話帳・看板など)を見た」
 2)「刊行物や番組を見た」 → 「刊行物(新聞・雑誌・単行本など)や番組(テレビ・ラジオ)を見た」